

秋田市
絆づくり事業

絆映画上映会



秋田市家族・地域の絆づくり
キャラクター「テッテ」

2023
11/23
(木・祝)



自分らしく生きることを決めた。

ぼくらの7日間戦争

Seven Days War

北村匠海 芳根京子
宮沢りえ (特別出演)

とき 令和5年11月23日(木・祝)

⑦午前の部 (10:00~11:30) ①午後の部 (13:30~15:00)

お申込み方法

申込専用フォーム、ハガキのいずれかの方法でお申し込みください。
後日、入場整理券を送ります。

【お申し込みの際の記載事項】

- ①タイトル「絆映画上映会鑑賞希望」
(申込専用フォームから申込みする場合は不要です。)
- ②お申込者の郵便番号、住所、氏名、電話番号
- ③鑑賞希望人数(4人まで可。必ず全員の名前をお書きください。)
- ④鑑賞希望の時間(⑦午前の部、①午後の部から、第1希望と第2希望を選択してください。)

申込QRコード



お申込み期間 令和5年10月10日(火)~10月24日(火) 必着

ところ にぎわい交流館
多目的ホール (秋田市中通一丁目4-1)

入場 整理券必要(無料) **定員各250名**

注意事項

- 1人につき、1上映のみ鑑賞可能とします。
- 応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- 当選者の発表は、入場整理券の発送(11月上旬予定)をもってかえさせていただきます。

お問い合わせ・お申込み先

秋田市市民生活部 生活総務課 絆づくり担当
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号
電話 018-888-5650 主催 秋田市

市ホームページ



累計発行部数2000万部の人気シリーズがアニメ化



北村匠海と芳根京子が 自由を愛する少年少女に“声”を吹き込み デビュー作の役を再び演じる宮沢りえが “戦争”を新世代に伝える

大人による管理教育に反抗した中学生の主人公たちが廃工場に立てこもり、爽快な逆襲劇を繰り広げる——。『ぼくらの七日間戦争』は、1985年に宗田理により書き下ろされると、当時の中高生を中心に熱狂を生み、またたくまにベストセラーとなった。88年に公開された実写映画は、当時14歳の宮沢りえが初主演にして女優デビューを飾ったことや、TM NETWORKによる主題歌「SEVEN DAYS WAR」のセンセーショナルなメロディーが話題を呼び、累計発行部数2000万部を超える小説と共に青春エンターテインメントの金字塔として世代を超えて愛されてきた。

2019年冬——。この“ぼくら”シリーズが、舞台を2020年の北海道へと移し、初のアニメーション映画として生まれ変わる。

本作の主演声優を務めるのは、初主演映画『君の膵

臓をたべたい』以来、数々の賞に輝き、俳優として目覚ましい躍進を見せる一方で、アニメ好きを公言してきた北村匠海。気は弱い、豊富な知識で大人に立ち向かう主人公・鈴木守を演じる。そして、守が想いを寄せる千代野綾役には、朝の連続テレビ小説『べっぴんさん』のヒロインとして人気を博し、映画での好演も高い評価を得る芳根京子が選ばれた。さらに、実写映画版から30年後の中山ひとみ役を、前述の実写映画で同役を演じた宮沢りえが担うことは、この作品が持つ普遍の魅力と、アニメーション化という革新的意義を、いっそう深いものとする。他にも、主人公の仲間たちには、アニメーション界の今を支える実力派声優が名を連ねた。

令和に生きる全ての“ぼくら”へ贈る、新しい“7日間”の戦いをお楽しみください。



2020年、北海道。

高校二年生の鈴木守は密かに想いを寄せていた幼なじみの綾が、親の都合で急きょ転校してしまうことを知る。守は勢いで「一緒に逃げよう!」と一世一代の告白をするが、クラスメイトたちとともに廃工場への家出計画に発展していく。そんな子どもじみた小さな反抗が、大人たち、街中やネットをも巻きこむ一大騒動になるとは知らずに。

(C)2019 宗田理・KADOKAWA / ぼくらの7日間戦争製作委員会

映画を通じて、家族や友人、地域に目を向け、 “絆”の大切さを考えてみませんか。

●秋田市は、絆映画上映会や絆の学習などを通して家族や地域の絆の大切さを伝えています

主催 秋田市